

## 平成22年度一般会計予算と 特別会計予算を可決

市議会は、第4回定例会を11月24日から12月21日までの28日間の会期で開催し、議案18件、意見書1件、陳情3件について議決しました。なお、議案5件が継続審査となりました。(8ページ参照)

また、一般質問では、5日間にわたり、23名の議員が市長等と議論を交わしました。

### 予算特別委員会を延べ 5日間にわたり開催

市の平成22年度予算は、4月から12月までの間、一般会計と8つの特別会計の全てが暫定予算となっていました。

11月24日に開会した第4回定例会では、議長を除く23名の議員で構成する予算特別委員会(新海栄一委員長、皆川りうこ副委員長)において、本年度予算議案の審査を行いました。

議案第145号の一般会計予算は、歳入歳出の総額を399億5,463万7千円とするものです。

### 北口再開発事業費に質疑が集中

この予算提案にあたり市長からは、国分寺駅北口再開発事業の西街区ビル施設計画見直し案の具体化に向けた今後の取り組みについて表明がありました。その内容は、「事業協力者との協議を踏まえ、商業保留床として設定した部分については特定建築者の取得を前提とする」「追加的な財政負担として見込んでいた21億から36億のうち、15億円を除いた21億円を財政フレームに位置付ける」「この財政負担についても今後さらなる軽減に努め、再開発事業の早期完成を目指す」ことなどです。

この再開発事業について、委員会では「特定建築者の取得を前提とした15億円削減の根拠や確実性」「21億円の追加財政負担をさらに削減するために事業協力者の再募集の必要性」「結果として事業費が縮減できなかった場合の市長責任」「市民・議会への適切な情報提供」などについて様々な視点から多くの質疑が行われました。

市長からは、「事業協力者は特定建築者に応募しない自由もあるが、他の事業者からも取得の意向が示されたので最大の追加的財政負担21億円を財政フレームに組んだ」「新年度に事業協力者が必要な場合は再募集し、民間事業者による事業協力の仕組みを構築していく」「追

加的な財政負担をゼロに近づけるよう最大限の努力をする」「結果を出すことができないような状況に陥ったときは市民の新たな判断を求め、覚悟を持って事業を進めていく」「市民と議会に、きめ細かな情報の提供に努める」などの答弁がありました。また、委員会での求めにより、10月～11月に行った7つの事業者に対する情報収集結果の資料も提出されました。

### 自転車駐車場などにも多くの指摘

委員会では、この他の事業に対しても様々な質疑が行われました。

自転車駐車場については、議会に一切の説明がないままに東恋ヶ窪一丁目に設置計画があったこと、そしてその計画が中止となったことが今回明らかになりました。第3回定例会においても、議会に報告なく一部の自転車駐車場が利用中止となる事例があったばかりでした。

委員からは、「その計画の経緯や政策決定のあり方」「議会に説明がなかった理由」などに対する質疑が出されました。

市長からは、「事務的なミスや不適切な対応が重なったことについてお詫びを申し上げる」「議会への説明責任を怠ったことに対し、しかるべきときに私自身の責任を明らかにする」との答弁がありました。

財政フレームについては、今回、市民税が約4億円減額修正されましたが、委員からは「その理由と見込みの甘さ」や「今後の財政計画への影響」などに関する質疑が出されました。

担当からは、「当初の見込みより納税義務者と一人当たり所得が減となった」「減収分の補填は基金で対応したい」との答弁があり、また市長からは、「厳しい指摘は覚悟していたが、今の時点ではこのフレームで示さざるを得ない。今後さらに努力していく」との答弁がありました。

この他、旧ひかり保育園用地の賃貸借契約に関わる耐震工事の状況や職員給与条例に関連した職員労働組合との交渉状況などについても数

多くの質疑や意見が出されました。

予算特別委員会は、当初3日間の予定を5日間に延長して審査を行いました。そして、12月6日に開催した本会議において賛成多数により一般会計予算を可決するとともに、全ての特別会計予算についても可決しました。

一般会計予算の表決の際に行われた各会派の討論は2～3ページを、賛否の分かれた議案に対する各議員の表決結果は8ページをご覧ください。

### いずみホールの指定管理者の 議案を賛成多数で可決

議案第157号「指定管理者の指定について」は、いずみホールの管理・運営を平成23年4月1日から3カ年、指定管理者(野村ビルマネジメント株)に行わせるというもので、委員会・本会議ともに賛成多数で可決しました。

次ページにつづく

### 議会を日曜日に開催します

身近な、開かれた議会を目指します。

市議会では、「平成23年度施政方針」に対する各会派の「代表質問」を、多くの市民の皆さんに傍聴していただくため、日曜日に本会議を開催いたします。

多くの皆さんの傍聴をお待ちしています。

日時：2月20日(日)  
午前9時30分～午後7時(予定)

場所：市役所第1庁舎3階 議場

内容：平成23年度施政方針に対する代表質問

※市長が施政方針を表明する本会議は、2月18日(金)午前9時30分から開会する予定です。なお、代表質問の様子は市議会ホームページで2月28日(月)より音声配信する予定です。

議事担当 (内468)

委員会においては、各委員から管理・運営に係る苦情対応の現状把握の不足や市への報告等を怠った場合の罰則の必要性、市の関わり方が不明確などの点について指摘がありました。

これに対し、指定管理者が体制を整備し誠意をもって対応すること及び市が指定管理者と連携して解決を図る義務規定を協定書に盛り込むこと、また、罰則については、関係条例に基づき、適切に対応するとの答弁がありました。併せて、委員から指摘のあった、障害のある方や高齢者の施設利用に十分に配慮するとの文言を仕様書に規定するとの説明もありました。

次に、いずみホールの音響や照明等に係る事項が指定管理者の選定評価基準に入っていないこと及び舞台操作の事業者が示されていない中

で、指定管理者を指定することには問題があるとの指摘があり、担当からは、「企画提案及び事業計画書」で音響効果や事業運営の独創性について触れられており、選定委員会ではこれらを含め選定している。また、指定管理者は照明・音響の重要性を認識しており、舞台操作に精通した事業者に委託する予定であるとの答弁がありました。

また、委員より、市の直営で運営していたときに比べ主催事業が減少していること等も踏まえると、財政的効果はさほど表れていない。市民や職員が自ら運営することで、問題点への素早い改善にもつながり、かつ文化的な蓄積もできていくのではないかと指摘もありました。

さらに、本会議においては、自動販売機の売

り上げが収支計算書に明記されておらず、本社支援費に上乘せする形となっている。自動販売機の売り上げの多寡が市民サービスの向上に影響する内容となっているとの指摘があり、担当より、協定書の規定に基づき事業全体の収支及び自主事業の収支がより明確になるように報告を求めていくとの答弁がなされています。

併せて議員から、公の施設に自動販売機を置き収益を上げている団体は他にもあるが、その内容を予算・決算書には明示してきている。それらとの整合性を図るべきであるとの指摘があり、担当から今後整理をしていくとの答弁がなされています。

以上の質疑等を踏まえ採決を行い、賛成多数で可決しました。

## 一般会計予算案に対する賛成・反対の意思表示の要旨

12月6日の本会議で平成22年度一般会計予算案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の意思表示が行われました。各会派等がまとめたその要旨を、一定のスペース内で様式は自由に討論の順番で掲載しています。

### 長期的視点での 健全な市政・財政運営を望む

新政クラブ

井沢 邦夫 (所属4名・賛成)

平成22年度予算の討論は今回4回目であり、すでに9カ月間・四分の三を経過してなお審議されていること自体異常な状況であると言わざるを得ない。この事態は市民にはとても判りづらく、多くの市民から「市政は一体どうなっているんだ!」というお叱りを受けている。議会便りや市報では議会での真剣な議論は見えず、単に行政と議会の対立と理解している市民も多い。年度当初から今回の予算審議まで争点となっている「国分寺駅北口再開発」は、9月に提案されたC案でも市負担は年間税収を超える大型事業であり、本来は市民への十分な説明を行なった上、総意を改めて把握すべきところである。今回の提案において、市長が事業者への保留床取得の意向確認を行った結果、市の負担を15億円減額できたという事に関しては一歩前進として評価をしたい。しかしもっと早い時期に、民間事業者側の意思確認、それに対する行政側の対応を逐次検討しておく必要があったのではないかと考える。今後は事業協力者や特建者の募集・施設計画・保留床処分等について、市の財政負担軽減に向けたあらゆる努力と柔軟な対応を求めたい。また今年度市税収入が当初予算から4億円減収となり市民生活が深刻な状況であることが明らかになった。国や都および市へ緊急経済対策を引き続き要望したい。今後経済環境が大きく好転しない限り市の税収は更に厳しさを増す見込みであり、長期的な見通しをもって厳格な財政運営を行いつつ、更なる市民サービスの向上を図ることを強く要望する。

### 市民合意なき

### 国分寺駅北口再開発でよいのか

市民サイド

釜我 健二 (所属4名・反対3・賛成1)

(1) 私たちは、国分寺駅北口再開発事業に対する市民合意は全く不十分なので、もっと時間をかけて説明し、市民合意を形成すべきと提案したが、市長はこれを一蹴した。莫大な市税を投

入するこの大事業を市民合意がないままに、このデフレ不況下で突入することは余りにリスクが大きく許されない。市長はこの間、再開発事業に政治生命をかけると繰り返し言いながら、実際はやるべきことも、やれることもやってこなかった。また、この間の市長の政治的プレの連続や、事業協力者再募集に対する姿勢の一貫性のなさなど、とてもこの大事業を執行できる状況にはないと判断せざるを得ない。

(2) 市長は(旧)ひかり保育園の土地建物を一民間事業者に賃貸したが、その際に法が定める競争による選考は全く行わなかった。そしてこの業者は耐震工事に関して一年以上も市との契約に違反し続けていることは極めて重大な問題だ。(3) 市は「くらしのガイド」を民間会社に丸投げし、その結果として、違法な内容を含むガイドブックが全世帯に配布された。アウトソーシングに対する市の姿勢は余りにもずさんすぎる。(4) 東恋ヶ窪一丁目地内の駐輪場問題について、市は議会の質問に何ら明確な説明ができないのみならず、議会に報告すらせずに予算化したのは大きな問題だ。

以上のことから会派としては本予算案には反対するものである。ただし会派内には少数意見として北口再開発事業はこの際進めるべきであるとの立場から賛成するとの意見も示された。

### 3度の暫定予算提案は 辞任に値する

生活者ネット・市民クラブ

星 文明 (所属4名・賛成)

22年度一般会計予算に消極的立場から賛成の意を表明する。当初予算案では、発行しない筈だった臨時財政対策債の発行、収支均衡予算とすることや経常収支比率の80%台達成の先送り等公約違反の予算が提案された。猛省を促す。

再開発について申し上げる。事業の延伸・ストップが方程式化している。無駄が積まれてゆく。前計画設計費1億8千万円が無駄となることが明らかになった。これらは権利床価格に跳ね返り、事業費の増大につながる。益々事業の成立が厳しくなる。スクラップ&ビルド等の手法の努力もないが最後のチャンスとすべきだ。

たばこ販売事業者との賃貸借契約問題について申し上げる。相手側が、確認書という耐震補強工事をしないなら、契約を解除すべきとの意

見がある。しかし、3億円の納税をしている事業者との契約を解除することは大人の解決策ではない。自動販売機1台を他に移されると当市への3億円はなくなってしまうのだ。当市に非がない契約であるから、引き続き契約の履行を求め続けることで、3億円は確保すべきだ。

職員給与問題について申し上げる。新聞報道で明らかとなり、第3回定例会の予算説明で知った。情報は隠蔽されていたのだ。当然、改善されなければならないが、職員団体との信頼関係を大事に、決して不当労働行為等があってはならない。禁止されている争議行為(スト)が行われたが、厳正な処分をし、客観的な批判に十分応えられる対応を求める。年度の3/4が過ぎた。異常を解消する立場から賛成する。

### 財政健全化が 再開発推進の必須条件

公明党

木島 崇 (所属4名・賛成)

将来の財政見通しの確立に全力を

税収減の影響等の要因があったにせよ、9月の予算特別委員会の時に示されたものと比べ乖離が大きい。再開発事業成立の裏付けとなるものだけに、基金残高の今後の見込み等、疑問点も多く改善に大きな努力が必要だ。

収支均衡型の財政運営達成への気概は

当初の目標だった24年度達成の見通しが厳しくなったことは残念である。将来への影響を考えれば是正をして何としても成し遂げるべきだ。財政健全化への課題を克服せよ

来年度より将来の財源不足を克服するために、4年間で20億を確保することのことだが、職員給与の課題等、多くの苦難を伴う取り組みになる。市のプロセスを踏まえた合意形成、そして何より市長の決断、リーダーシップが重要だ。

国分寺駅北口再開発事業について

かねてより現在の事業協力者のみに頼らない体制を求めてきた。来年度再募集の姿勢が示されたことは一歩前進だ。民間事業者にもヒアリングを行うなど、この間の努力も評価したい。ただし、一部で積極的な提案があるものの、現在の経済状況を考えればさらなる精査が必要だ。また「どうやったら市の財政負担を軽減できるのか」という視点で事業手法についても指摘し

次ページにつづく

たが、今後もあらゆる可能性を追求すべき。事業完成予定が平成30年になることを考えれば、これ以上の遅れは事業費増加の懸念もある。

賛成をさせていただくが、今後の市の財政健全化が必須条件であることを申し添える。

## 多発する事務の“ミス” 遅すぎる覚悟

民主党・無所属クラブ  
三葛 敦志（所属3名・反対）

**見通しの甘い財政フレーム** 旧ひかり保育園の賃貸借契約が危ういのに、そこからのたばこ税収を見込み続けるのは理解できない。可燃ごみ施設問題に関する費用が未計上の理由も不明だ。これら前提がそもそも信頼できない。

**不十分な組合交渉** 職員給与改定の方向は半歩前進と評価するが、誠意のない交渉が問題を深刻化した。決裂ありきの交渉だったのは遺憾。あきらめず交渉する姿勢がないのは残念だ。

**旧ひかり保育園問題** 契約で「先方が耐震工事を行う」とあるのに言を左右に着手しないというトラブルに案の定見舞われた。自治基本条例違反なのに強行した市長自身が招いた事態だ。

**東恋ヶ窪一丁目の駐輪場問題** 9月に続き駐輪場問題の闇が浮上。手続の「不備の連続」との説明は、疑念にもつながる。これら事務執行がまかり通るのは恐ろしい状況。今後の検証を。

**政治倫理審査会** 市長と実兄との契約行為が政治倫理条例違反だとの指摘で開催された政治倫理審査会がなぜか非公開で行われた。事務上の重大なミスであり、再度開催するのは当然だ。

**国分寺駅北口再開発** ①事業協力者の再募集に市長はなぜか強い抵抗を示した。計画変更したのだから再募集との結論は当然。②市長は財政や市民の思いよりスケジュール優先のようだ。③21億円の市の負担は本来ゼロであるべきだ。市長が支払いたくても、市民は支払いたくない。「21億支払う場合は辞職して市長選挙」と言うが遅きに失した。ダメだった場合の結果責任ではなく、まず市民に方向性を問うべきだ。

## 自治体の理念にそむく予算

日本共産党国分寺市議団  
やなぎ 孝義（所属3名・反対）

《予算の基本的性格について》

予算案は、国分寺駅北口再開発事業に240億円に上る市税を投入することを前提としている。再開発のための行政改革として、保育園・公民館・図書館など福祉・教育分野を中心に民営化の方針が示されているが、「何でも民営化」では、住民福祉の増進を目的とする、自治体の責任を果たすことはできない。

《市民の声に応え、くらしを守る施策を》

国分寺駅北口再開発こそが、行政改革の対象である。学校の冷房化・保育園増設・福祉の充実など、様々な市民の要望に応え、くらしを守る施策の財政的根拠がここにある。

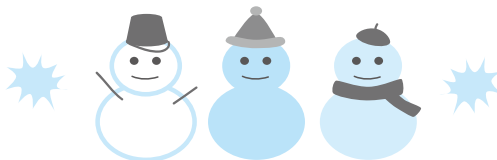
《国分寺駅北口の現状打開の道は》

住民犠牲をもたらす計画に固執するのではなく、権利者の生活と営業を守ることに留意しながら、駅北口の危険な状況を解決することを最優先に、あらゆる手を尽くすべきだ。それこそが現実的な打開の道である。

《自治基本条例にそむく市長の政治姿勢》

ひかり保育園の本園舎建設に乗じた形で民営化を打ち出し、決定事項として保護者に説明している。また、再開発事業に関しても、市民生活にどのような影響が及ぶのか全く説明しないまま強行している。「合意がなくても既定方針通り進める」という市長の姿勢は、自治基本条例に背くものである。

以上、「住民福祉の増進」を旨とする自治体の予算としてふさわしくないものであり、反対する。



## 再開発の支出増は 市民の将来負担増だ!

無会派  
甲斐 よしと（反対）

再開発の行き詰まりから市長は三度も暫定予算に組み替えた。星野市長が再開発総事業費を611億に上げ市負担211億にふえ、113億は起債（借金）。211億のうち、売る再開発ビルに44億も市負担があり、うち12億が起債。この法定ルール以上に、売れないビルの床を21億、もしくは最悪36億円で市が取得の設計予算案は、右肩下りの時代、少子高齢社会において、次世代・後世に負担を押しつける国分寺の身の丈を超えた財政計画だ。そんな追加支出より、高齢者安否確認システムを初めとする福祉や子育て支援、子宮頸がんワクチン等の次世代の安心を育む施策こそが市民の期待に応える施策だ。綱渡りの財政計画で福祉を初めとして市民にしわ寄せを生む予算に私は自信を持って反対する。

## 再開発に一定の進捗が みられたこと!

無会派（新和会）  
いとう 太郎（賛成）

平成20年のリーマンショック以降、21年度に事業認可の手続を進めたことは、以前に経営の判断を見誤ったと指摘させて頂きました。

その後の対応も事業協力者がパートナー企業との計画が変更されたときに、現事業協力者は公募条件を満たしていませんので、契約解除をして新たに事業協力者の公募をしていけば、1年以上の時間の浪費はなかったと思います。

また、現在の事業協力者は近隣市でも再開発の実績がありますが、現在その街を見ると、にぎわいを創出している状況とは言えません。

今回の事業協力者とは契約が3月末でできるので、その際契約更新をしないと判断されたことは評価いたします。新しい企業とも21億分の保留床の取得を条件とされ、交渉を見守ります。

市政を  
問う

## 平成22年第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項及び答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを一般質問の順番で掲載しています。

## 学校にエアコンを! 道路を安全に!

無会派（新和会） いとう 太郎

**Q**学校にエアコンをとということで質問させて頂きましたが、昨日新聞で文科省が3分の1補助をすることが報道されていました。又都議会自民党が知事宛に予算要望を提出したところ、全会一致で可決されたそうです。又昨日この件で都議会でも質問がされており、東京都も予算化を検討する答弁がなされています。これらの経緯を踏まえ要望をさせていただきます。そして最近のエアコンは進化していて、インフルエンザ・ノロウイルスなどの細菌やウイルスに殺菌能力があるものもあるそうですので、提案します。  
**教育部長** 何らかの対応をすることを検討する。  
**Q**防災行政無線について、過去に特に西町4丁

目付近が防災無線が聞こえないケースがあり、調査するとその答弁を頂いておりますが、今回はその後の状況について質問いたします。

**総務部長** 事業者に調査を依頼しました。その結果を報告します。八小・三中共に方角を変えるだけでなく、三中にはさらにスピーカー2基を増設して対応する予定です。

**Q**それでは平成23年度予算に計上しますか?

**総務部長** 23年度中には対応していきたい。

**Q**前回西町3丁目の交差点改良について質問させていただきましたが、地域の方から非常にあの交差点は危険だとさらに指摘がありました。市内には危険という箇所がいくつかあると思いますが、担当部署ではどうお考えですか?

**都市建設部長** 優先順位は図っていく方向です。

**Q**平成23年度は長期計画の後期に位置付ける大切な年です。市民の声が多数集まるのが大切。

## 閉会中の委員会等

委員会はどなたでも傍聴できます。

- 1月20日（木）代表者会議  
議会運営委員会
- 1月21日（金）国分寺駅周辺整備特別委員会
- 1月24日（月）総務委員会
- 1月27日（木）建設環境委員会
- 2月1日（火）厚生委員会
- 2月2日（水）ごみ対策特別委員会
- 2月3日（木）厚生委員会文教委員会連合審査会
- 2月16日（水）代表者会議  
議会運営委員会

委員会は市役所第1庁舎3階第1・2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当（内468）

## 都市農業に雇用支援の視点を!

市民サイド 森 喜行

●高齢者対策…歩道の整備など、まちづくり全般に高齢化支援の要素を取り入れるよう求めました。高齢者が中心の町内会、自治会活動に支障が出始めている現状を指摘、若者の参加を促す異世代交流事業の現状を質問し、介護保険の認定基準が厳しくなる中、ボランティア不足が懸念されることから、その育成状況を質し、有償ボランティアの必要性について市の見解を求めました。独居老人等への対応として、本人が主体的に街へ出かけたくなる仕掛けを市民との協働事業として行うよう提案、検討を求めました。更にデイケア施設の認知症利用者への対応が人権に充分配慮されるよう、指定管理者に対する市のきめ細かい調査、指導を求めました。

●農業施策について…雇用支援の観点から農産物の二次加工・製造販売を市がバックアップ、充実を図り、面積あたりの収益を増やし、減り続ける都市農業を守ることに加え、就労の機会を増やす方法を検討するよう求めました。特に50歳以上の女性の就労支援に繋げる施策として市の農業振興事業補助金や農業改善計画推進事業補助金など4つの補助金交付の要件に「農業就労者の確保・充実が見込める」という条件を追加出来ないか、検討を求めました。

●道路整備について…地下水保全の立場から都道3・2・8号線の植樹帯の樹種選定への積極的な担当課の関わりを求め、路面整備も含めた雨水の涵養策を求めました。また五日市街道との交差により混雑が予想される西武国分寺線踏切り周辺の道路環境の改善も求めました。

26市で最も高い  
職員給与の是正を求める

新政クラブ 新海 栄一

新海)市の係長、主任の給与が26市で一番高いとのことですが、いくら位かお聞きしたい。  
総務部長)係長職で最高が年額851万円、主任職で最高が844万円で26市中1位です。  
新海)市長、部長、課長、議員は26市中18~20位にいる。それに比べて係長、主任の給与は異常に高い。年収の低い市民が高額の職員給与のために血税を払っている。是正を強く求める。  
新海)給食の残渣(残量)が毎月2,500~3,200キロ出ている。多い学校と少ない学校では1人当たり5倍以上の差がある。原因は何か?  
教育部長)基本的には大規模校と小規模校の差と思われる。日数、メニューの差も考えられる。  
新海)大規模校を見ても多い学校と少ない学校がある。規模の差ではない。毎年多い学校は常に多く、少ない学校は常に少ない。原因究明を。  
新海)前回商業活性化のために、国分寺駅北口に新規バス路線の開設をお願いしたが可能性は。  
都市建設部長)数社に要請したところ1社から路線延長ということで前向きな回答を得た。駅広までの進入は無理だが巡廻ルートで検討する。  
新海)夕方の防災行政無線のチャイムを信時潔さん作曲の「一番星見つけた」にできないか。  
総務部長)一番星見つけたに変更することについては問題はないので実現に向けて進めたい。  
新海)JRとの協議で国分寺駅東側JR敷地内に駐輪場用地が確保できたとのこと、現状は。

都市建設部長)高架化に伴い資材を運び入れる場所が国分寺しかない。そのためレール上2階部分より造ることになる。約3,000台収容の予定。

子宮頸がん予防ワクチン  
公費助成は市民の声

公明党 さの 久美子

1. 子宮頸がん予防ワクチン公費助成について  
公費助成への最大のネックは「財政」であったが、国の補正予算で一定程度の財源は確保できた。公費助成を求める署名は5,602名、多数の市民の声が寄せられた。これを市長はどう考えるのか。市長)市民の健康や命を守るというのは市政の最重要課題。必要性については十分承知している。今後このような対応が図れるか、更に検討を深めてまいりたい。  
さの) 今後はがん検診の体制の拡充やがん教育の必要性も高い。教育長) 家庭に啓発を図り、接種を親子で考えることも非常に重要と考える。

2. 在宅重度心身障害者巡回入浴サービスについて  
今年度は夏季3カ月が週2回に拡充された。猛暑だったこともあり、利用者から「助かった」との喜びの声が届いている。障害者計画に基づく通年週2回への検討を開始してほしい。  
市) さまざまな角度から検討を開始したい。

3. 認知症対策について  
①地域で認知症患者を支える輪を拡大していくためには、草の根の活動が必要である。PTAなどを対象とした親子認知症サポーター養成講座の開催を検討してほしい。教育長) 子どものうちからこのようなことを身につける機会を作っていく。②高齢者認知症患者の自動車運転は危険性が高い。免許証返納後のいきがい活動などが大事である。市) いきがい活動、介護予防事業等、検討を部内ですすめていきたい。  
※第2回定例会で求めた、ハートプラスマークのぶんバスへの表示は12月から始まりました。

前回市議選の公約を  
総ざらいしました。

民主党・無所属クラブ 三葛 敦志

【1. これからの環境づくり】  
①可燃ごみ有料化で環境意識低い市民巻込め。  
答) まずは啓発。減量の動向見極める。(これまでの答弁を繰り返すだけ…)  
②緑の基本計画の目標値、大幅な下方修正。しかも、「農地保全が最重要」なのに「宅地開発時に公園造らせる」と相矛盾した目標だ。  
答) 厳しい目標だ。(今からこれでは絶望的…)

【2. これからの教育づくり】  
①コミュニティスクールで地域の学校に。  
答) 現在の学校運営協議会を充実させる。  
②電子書籍で『本=印刷物』ではない発想に。  
答) 図書館のあり方・対応も早々に検討したい。  
み) 権力による表現規制は慎重であるべき。

【3. これからの行政づくり】  
①言い訳無用。誠実な財政見直しを。財政フレームに計上するかどうかさえ恣意的だ。  
答) 最大限の情報収集で計上しているつもり。  
み) 再開発の財源捻出の数字合わせではダメ。  
②市庁舎建設難しい以上、東恋ヶ窪イトーヨーカドー跡地を検討する等、方向考えよ。  
答) 検討の俎上には載せる。

【4. これからのまちづくり】

み) 「北口再開発最優先」を市民にどう説明?  
答) 安全安心、経済、商業振興のためだ。  
み) まちづくり顧みない“マンション建設案”(旧⑤案)提案した時点で言う資格はない。  
答) 今の案(C案)は権利者の要望の強い案だ。  
み) 事実と違う。権利者は進めるためしぶしぶ飲んだ。市長がその程度の認識とは残念だ。

雇用・就労支援対策の  
抜本的強化を

日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸) 雇用・就労支援対策について、若者の失業問題は、個人だけの問題でなく、日本経済の将来を左右し、社会保障の担い手を減少させる問題だ。足立区や立川市が取り組む若者サポートステーション事業の実施を求める。  
部長) 東京仕事センター多摩との連携をより強化して就労の支援に努めていく。  
幸) 就労支援担当係が設置されたことを踏まえ、都の引きこもりセーフティネットモデル事業を市として緊急に実施すべきだ。  
市長) 危機感共有している。取り組みをどのような形で深められるか検討したい。  
幸) 公共調達条例について、12月の議会に提案するとしたのは市長の公約だが、まだ議会に提案されていない、どうなっているのか。  
市長) 庁内で議論する中で、色々と課題が出てきた。よりよい条例にするべく努力している。  
幸) 8年前から議論している。パブリック・コメントもかけている。すぐに提案すべきだ。  
市長) 努力中であることをご理解いただきたい。  
幸) 行政改革について、新規事業の一般財源額が、来年度以降大幅に減らされている。国が各種ワクチンの補助や小中学校への空調補助を打ち出しているが、市として実現するための予算確保を求める。  
市長) 命の問題、健康の問題は最重要課題で、どういう対応が図れるか検討したい。  
※国分寺駅北口再開発について、駅広の整備と危険な道路解消という原点に立ち返り、現在の経済状況にあった整備を求めました。

国分寺駅北口再開発は  
全市的取り組みを!

民主党・無所属クラブ 及川 妙子

1. 前回からの引き続き①総務省情報通信政策研究所のテニスコートの日曜日使用について→予算要望しているが、施設が行政評価局の調査を受けていて結果待ち。②大型集合住宅でのペットボトル回収について→30件中1件しか連絡していない。③小・中学校へのクーラー設置について→国の支援は1/3、東京都の具体的な支援策が決まったら総合的に判断する。

2. 学校関係①学校に救急車を呼ぶ時のマニュアルと回数→昨年は13件、今年は9件。必要な時は呼ぶ。②特別支援学級と通常学級の交流について、通常学級から特別支援学級に行く逆交流もやって③先生は何人休んでいるか→病休休暇は6人→代わりの先生の確保の名簿を最新に。

3. 道路整備について①都市計画道路の整備率20%の理由は→市街化が急速に進み、道路整備が遅れた。②自転車事故を減らすためにも死角ができるカーブミラーの調整を。

次ページにつづく▶

4. 西国分寺駅の再開発について①駅のチャイムを信時潔さんの曲にして下さい。②東口の改札はできないのか？なぜ交通広場だけできているのか？駅に行く道が危険→市は必要だと考えるがJRは現在のままで十分であるということ。道路の改善計画はない。③北口の再開発は→第四次長期総合計画の後期で事業を位置づける。

5. 国分寺駅北口の再開発について①市民の関心を高めるため、オープンハウスの年間開設、垂れ幕・横断幕の活用、市報・ホームページで情報発信と受付②オープンハウスは職員全員で輪番で当番し全庁的取り組みを。

## 地域の課題整理で 公共交通の計画的な整備を

公明党 高橋 りょう子

①高橋) ぶんバス・北町ルートの現状と、新提案の路線バス延伸の進捗状況について。  
市) 北町ルートは、8割が路線バスとダブリ、他のルートも道路幅が不足し難しい。代案は路線バスが北町3、4丁目まで延伸しUターンする。費用対効果や土地の確保など現在検討中。

②高橋) 一人暮らし高齢者の安否確認のため地域見守り支え合い作りのその後の状況は。  
市) 府中・国立市など全国約160カ所で実施中の乳酸菌飲料事業者と協議し検討を開始した。  
高橋) 議会で今回4回目の提案となるが「緊急医療情報キット」の進捗状況はどうか。  
市) 福祉保健部など関係部局や救急車を統括する消防署とも協議し包括補助も視野に検討中。  
高橋) 市報掲載の障がい者就労支援マークの決定は評価する。現在の協力企業の応募状況は。  
市) 法人と複数のコンビニから実習生の要請が。

③高橋) 忘れられない今年の猛暑。小中学校の暑さ対策は進んだか。冬・春休みの準備態勢は。  
市) 財源不足の折、議員の提案も視野に検討中。  
高橋) 流行が心配されるノロウィルス・インフルエンザ対策は怠らないか。  
市) 対応マニュアルを全教職員に配布し、周知徹底中。嘔吐物処理のグッズも用意されている。  
高橋) 中学校給食の契約更新時期を迎えるが。  
市) 今、プロポーザルの募集をかけ、現在2社が応募。残渣問題、おいしさ向上の課題など議員指摘の現場の声を生かす選定をしたい。

④高橋) 市発行のリニューアル後の健康手帳は使いやすいと評判が良い。大きく評価する。

## 政策の優先順位を明確にし 着実な市政運営を

新政クラブ 井沢 邦夫

I 借金の増加が心配、今後の財政運営は—  
(井沢)国分寺駅北口再開発に要する市の多額な負担分を含む借金を将来財政が耐えられるか？  
(市)平成22年度以降51年度までの元利返済総額は663億8,800万円を見込む。  
(井沢)直接的財政負担を軽減する方策を求む。  
(市)市が受け取る保留床の処分金を上げたい。

II 市民生活が厳しい、追加経済対策は—  
(井沢)生活福祉資金の利用は当市ではどうか？  
(市)本年度10月まで37件貸付で増加傾向。  
(井沢)市営・都営住宅の応募・入居状況は？  
(市)市営住宅は20戸で空きが無い状況。都営住宅は1,687戸で応募が68倍。  
(井沢)昨年実施の緊急経済対策の継続状況は？

(市)小口事業資金と緊急融資制度を継続中。  
(井沢)今回示された地域活性化交付金をこれらの経済対策や雇用対策には活用できないか？  
(市)合計2,600万円、来年度予算で対応。  
III 市有土地の有効活用で施設整備充実を  
(井沢)中央線の三鷹・立川間複々線化を強く要望する。高架化による土地の割当てはどうか？  
(市)当市には128㎡、場所は決まっていない。  
(井沢)旧東恋ヶ窪なかよし公園の代替計画は？  
(市)近隣の地権者と最終調整を行なっている。  
(井沢)昭和61年焼却場建設時地域の環境整備で建設した恋ヶ窪自治連会館の存続を求める。  
(井沢)スポーツや文化活動等が医療費の縮減に寄与している。予防医療の観点で充実を。  
IV 今年のインフルエンザ対策は十分か？  
(市)ワクチン・マスク・消毒液も対応可能。

## 財政環境を改善し もっと元気な国分寺を

公明党 木島 崇

### 行政改革と財政運営

(問)今後、基金の取り崩しを避けるためにも計画に沿って24年度に収支均衡型財政の達成を。  
(答)緊急の支出に備える財政運営をするために、内部改革等を進めて対応していきたい。  
(問)財政健全化に取り組むにあたって、未来への負担となる赤字地方債の借入れは避けるべきで、財源不足にならないよう予算編成を。  
(答)借り入れない前提で予算編成にあたる。  
都市計画行政～未来を見据えた取り組みを  
(問)優先路線(国分寺街道等)の着実な推進を。  
(答)国分寺街道は27年度までに何らかの形で着手できるよう都に要望していく。  
(問)野川の整備の方向が都より示されつつあるが、その意義を含め関係住民に丁寧な説明を。  
(答)緑の環境保全からも重要な事業。都と一体となって説明を進めてまいりたい。  
西国分寺駅周辺の諸課題について  
(問)バリアフリー工事を契機に駅舎の改築も行われるが、「駅ナカ」等、活性化の検討も。  
(答)慎重に市の対応策を検討したい。  
(問)改札拡幅も(ベビーカー等利用者への配慮)  
(答)改築の際に進むように要望していく。  
(問)泉町2丁目の交通広場にタクシーが滞留しているが、そこで市民が乗車出来ない状態だ。  
(答)重要な指摘だ。改善に向け対応したい。  
地域バス(ぶんバス)の新たな必要性  
従来の高齢者の移動手段に加えて、「買い物支援」という側面が重要になってきていることを意見として要望させていただきました。

## 地方主権で 「福祉は文化の指標」を

生活者ネット・市民クラブ 梁川 律子

### 1. 地域福祉計画づくりについて

ようやく地域福祉計画策定へ緒についた。地域福祉計画づくりは計画策定の過程が重要と考える。今年度から中学校区で市民参加を行いながら進めているが、全庁内のあて職のメンバーではなく庁内での公募を検討するべきでは？  
答) 市内在住の職員もいるので、全庁的にメンバーを公募していきたい。  
道路、ごみ、防災、学校、体験農園など各部の政策課題を地域福祉の観点で解決していくこ

とが必要と考える。

また、計画づくりは市民と行政が同じ情報量が必要。そのための学習会を企画するなど重層的な課題を考えるべきではないか？

答) 共通の認識が必要なので検討する。

地域福祉の概念は制度と制度のすき間をうめるというものではない。行政対市民だけではなく、市民同士の課題解決にもつながる。しっかりした企画を行ったうえで計画づくりを。

### 2. 保育サービスの考え方

保育サービスの整備に関わる全体計画を準備しているが、一番大事にすることは公立、私立、認可外も含め、すべての子どもに公平なサービスを提供することが行政の責任と考える。そのためには、市民参加の評価制度や職員研修、苦情解決のしくみなど具体的な方策を検討し、全体計画と一緒に出すべきと考える。

答) 全体計画の中で評価制度のしくみや認可外保育についても認可園との連携などを検討していきたい。

## 中小企業の資金調達 連雀通りの安全対策他

公明党 松長 孝

問: 中小企業の資金調達について。信用保証協会の融資額が非常に厳しくなっている。市としての資金調達の方法が数少ない。別の貸付制度である、日本政策金融公庫の貸付を掌握しているのか？ 貸付枠が50種類以上もある。また返済しなくて良い助成金等もある。  
答: どの様な融資制度があるのか研究している。  
問: 動産で貸付をしてもらえる業種は殆どない。いわゆるアセット・ベースト・レンディング、という動産担保融資の研究をすべきである。  
答: 動向を見守りながら研究したい。  
問: 連雀通りの安全対策について。8年間、ずっと取り上げ続けてきた結果、連雀通りと三小踏切の東側に歩道設置が完了した。地権者探し等、市民の積極的な協力を得て、完了するところまでできた。このように市民のために動いてくれている方々に、足を運んで御礼を言うべきだ。  
答: ぜひ、御礼の言葉を述べていきたい。  
問: 北口再開発の将来像についてどう思うか？  
答: スケジュールが発表されるたびに延伸し、権利者の方々に大変御苦勞をおかけした。大きな資金を投入して、長い歴史をかけた中で、解決すべき事業であると思う。  
松長: 市長はこの事業に関する一番大切なものは何だと思うのか？ 絶対に必要なものは血税である。血税の使い方の重みについての発言があるのかと思ったが、その主旨の発言がないことに対して大変に残念に思う。一体何億円の血税が無駄になってきたのか、よくよく振り返っていただきたい。

## 次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成23年第1回定例会は、2月18日(金)から開会の予定です。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当 (内468)

## 特別支援教育・ 精神疾患の理解啓発について

生活者ネット・市民クラブ 多良 京孝子

問) 教育委員会が来年度策定を予定している特別支援教育基本計画の改訂版(仮称)に様々な立場の当事者の声を反映させる必要がある。そのためには策定委員に特別支援学級、通級指導学級、特別支援教室、介助員制度利用者の保護者等幅広い人選が不可欠。インクルーシブの視点から通常級の保護者、福祉的視点から地域の関係者にも入っていただく必要があると考える。教育長) 指摘を参考にした人選に努める。

問) 特別支援教育を進める上で、一斉授業における介助員の果たす役割は極めて大きい。市独自の取り組みとして進められてきた現在の介助員の業務は身辺介助のみとなっている。計画改訂においては学習支援も含めた幅広い業務内容での位置づけをするべきである。いかがか。

教育長) 国でも同様の制度ができる。支援の中身を広げることは検討されるべき問題である。

問) 来年4月開設予定の3中の特別支援学級を情緒障がいクラスにと要望してきたが、知的障がい学級と決定された。「一人ひとりの教育的ニーズに合った個別の支援」を基本に、情緒的な支援が必要な生徒への対応の保障を。

教育長) 基本的にどこでも一人ひとりに沿った教育ができるように学校は努力をしていく。

問) うつ病をはじめとして精神疾患の急増が社会問題化しているが、正しい理解啓発がなされていない現状がある。発症が中高生時期に多いことから学校教育の中で学習する必要がある。教育長) 遅れているのが実態。質問を受けて取り上げていく必要を感じた。進めてまいりたい。

## 国分寺の持つ魅力を 生かしていける政策を!

新政クラブ 田中 政義

1. 都市計画道路3・2・8号線開通による交通渋滞について

問) 終点部となる五日市街道の交通量増加が懸念される。抜本的な対策として、五日市街道を西側の方まで拡幅していただきたいと思うが。都市計画担当部長) まずは320mの事業区間で東京都が拡幅を行う。さらに西側の拡幅に対しては、次の事業化計画に位置づけられるよう、東京都に対し、働きかけていきたい。

2. ぶんバスの小型車両について

問) 北町ルートについて、小型車両の検討はどうなっているか? 市民の要望への対応を求める。都市建設部長) 北町ルートについては、可能性を検討しているが、小型車両については次の段階であると考えている。

田中) 今の車両の大きさでクリアできなければ、是非検討をし、柔軟に対応してもらいたい。

3. 文化財の活用について

問) 国分寺の文化財を広く周知できる資料やイベント等の現在の状況は?

教育部長) 文化財めぐりといったマップの配布をしているが、看板等の改良に検討の余地あり。

4. 総合博物館について

問) 国分寺にはアニメ制作会社や漫画家の方々が仕事をしていたり、ロケット開発の基礎になっている土地がある。双方にとってメリットとなるような協力を依頼しPRしてみてもいいか? その

為の総合的な博物館を検討していただきたい。市長) 市が持つ魅力を生かすことで発展していくと思う。財政的に可能な時期に実現を目指す。

## 度重なる方針変更 プランのもとに市政運営を

市民サイド 皆川 りうこ

心の健康づくり、メンタルヘルス 問) 市長は、市民の健康、社会的に弱い立場の人を守ることは市政の基本的な姿勢と述べた。自殺・虐待・DV問題等心の健康についても同様に捉え対応を。福祉保健部長) 窓口を含めきちんと対応したい。

問) 心の健康づくりは自殺対策且つ生きる支援だ。現在休止状態の「国分寺市民健康づくり推進会議条例」を活用し心の健康対策に取り組み。部長) 市民の健康づくりに向け検討を加えたい。

問) 訪問型(アウトリーチ)の支援と相談業務(ゲートキーパー)についての考え方は?

部長) 訪問支援の必要性を認識してもらおう。次年度もゲートキーパー養成講座への参加者募る。

伴侶動物 コンパニオンアニマル(ペット)

問) 心理的効果がある動物の存在は重要。災害時の避難所に移動する際の伴侶動物の対応は? 総務部長) 地域防災計画での運営マニュアルで動物の対応が位置づけあり。衛生面、アレルギー問題等対応策を検討し運営していきたい。

まちの活性化、観光事業の見直しを

問) 市内観光資源の有効活用、看板の充実、地図配布の工夫を。古い観光グッズには問題あり。市民生活部長) 検討課題だ。

数回にわたる施政方針変更 問) 施政方針P、市政運営D、評価C、改善Aの観点で見解を。

市長) 私自身や行政内部の問題があり修正した。今後避けなければならない。

問) 市政運営上、関係者との信頼関係は重要。情報公開や合意形成のあり方で危うい状態だ。市長) 関係機関と信頼関係を構築して運営する。

## 実態にあった公平な支援を!

市民サイド 亀倉 順子

年金記録改ざんなど相次ぐ公文書管理の不備により法制化が進み公文書管理法が制定、施行される。「情報の公開」と表裏一体の「公文書の管理」である。市民が正確な情報を知り、それに基づき判断し、主権を行使するのが民主主義であり自治の根幹であると考えている。市民の財産である公文書を管理・保存し後世に伝えることは自治体の責務。どの様に管理運用するか条例で定めることを提案する。

市長) 提案を受け止め、検討する。

問) 歴史的公文書の保存が不十分であり、選別など専門家が重要。保存場所など早急に検討を。市長) 市政運営の重要なことと認識している。専門家の配置など現状を精査し、考える。

問) 埋め立て不燃物搬入ゼロの自治体が7市ある。市の不燃物も年々減量している。週1回から隔週に変更することを提案する。

環境部長) 来年度、検討する。

問) 燃やしているマルチパックも再生可能であり回収ルートもある。是非取り組みを。

環境部長) 現古紙問屋では不可能だが検討する。問) ひとり親家庭対象の寡婦控除は未婚ひとり親家庭は適用外。保育料も大きな差がある。生

活の安定自立のため「みなし控除」の検討を。市長) 実態を認識した。早急に検討する。問) 「住民生活に光を注ぐ交付金」を生かし、DV対策に取り組み。自立支援プログラム、同行支援者養成や派遣など必要な事業だ。期限付である早急に意思表示を。市民部長) 実施の方向で調整する。

## 庁内戦略として ワーク・ライフ・バランスを

生活者ネット・市民クラブ 片畑 智子

問) ワーク・ライフ・バランスを質問すると、残業の削減や育児休暇の取得推進に取り組んでいると説明されるが、そんな狭義の概念ではない。庁内でワーク・ライフ・バランスに取り組むことによって、限られた時間の中で業務を効率的にこなす、心身の健康に留意する、生活者市民としての意識を育てる、家族との生活を大事にする、飲みニケーションもしかり、緩やかな時間と空間の中で職員それぞれが様々なことを感じ、吸収し、獲得していく余裕が生まれる。行政職員の仕事イコール市民の生活や人生にかかわること。その意義や重さを考えたときに、職員の資質として何が求められるのか。国分寺市役所として、そこに働く職員としての哲学を持つこと、それが国分寺市役所の生き残りにつながり、それが国分寺市全体の利益にもつながってくる。そのような大局的な観点から、職員の人材育成を考えていただきたいというのが今回の私の一般質問の趣旨であるが、いかがか。

市長) 今後求められるものとして、地方主権を担い得る職員、市民感覚・市民の目線に立った行政ができる職員、今まで以上の成果を生み出すために自主的に政策を考え創意工夫が図れる職員の育成が必要である。また、指摘のようなワークとライフのバランスをとることで、一層意欲的に仕事に取り組んでいける状況をつくっていかなくてはならない。

問) 市長も自覚しているように行政は様々な課題を抱えている。そういう意味からも改めて抜本的な改革、庁内システムの再構築を求める。

## 子育て・教育環境改善と 市内経済活性化

日本共産党国分寺市議団 やなぎ 孝義

《ひかり保育園民営化について》

問) 市長は「ひかり保育園の民営化は決定だ」と説明している。いつ決まったのか。

市長) 大方針として民営化を定めている。個別の施設についてはそれに基づき説明する。

※「『全体方針が決まっていれば、個別については市長の判断でよい』などという理念は自治基本条例にはない」と指摘し、公設公営で運営されている現状から出発して、市が公的責任を果たしていくことを求めました。

《市立学校への冷房設置について》

問) 多い日には70人以上もの子どもが、暑さから来る症状で保健室を利用した。設置者である市の責任についてどう考えるか。

教育長) 区部と多摩地区の冷房設置状況に大きな格差があり、対応を急がなければならないと考える。

問) 都が助成方針を決めた。市長の認識は。次ページにつづく

市長：あくまで補助金で、市の負担もある。予算編成中なので、さらに検討を深めたい。

※補助制度実施を都に求めている市の立場からいっても、実施に向けた具体的検討を開始するのが当然だと指摘しました。

《市内産業と経済活発化について》

問：地域の「買い物環境整備」施策に関する、経済産業省のセミナーが1月に開かれる。担当職員の積極的な参加を。

市民生活部長：ぜひ参加したい。

問：農産物等の直売所のニーズ把握調査を。

市民生活部長：年度末に一定の報告をしたい。

## 安心して子育てできる 高齢者も住みやすい街

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問＝乳幼児期での重点施策は何か。

答＝親子ひろば事業を中心に子育て不安の解消を一番に考える。

問＝この事業は居場所づくりが中心で、育児相談は全面的には据えていない。今後の課題は。

答＝専門職体制でないため、市民のニーズに対応できない。

★保健師などの体制で育児相談も含めて、施設環境を整え常設に。

問＝新生児への訪問は全戸に切り替えられた。

妊婦の早い時期に面接し支援することは重要。

答＝育児不安や母親の悩み解消などへの支援。

問＝H21年は約9割の訪問。全戸訪問事業だから100%にする努力を。

答＝どんなアプローチが可能か検討をしている。

医療・福祉などの前進で高齢者への支援強化を

問＝国は介護保険改正でサービス利用の制限などを計画。保険料の値上げも。市の対応は。

答＝運営協議会委員などの意見聴取をし、市の考え方を整理する。

問＝この間の利用者の声等に寄り添った対応を

答＝消費税等で財源確保を国に要望(市長答弁)

問＝国保の窓口負担軽減等新基準の実施時期は

答＝年度内改正をめどに、対応する。

問＝医療の負担額減額認定証普及に力を尽くせ非課税世帯の何%が受けているか。

答＝わからない。

★この制度は所得1で8千円(月額)に。認定証があると限度額以上は窓口負担がなくなる。

◎第2庁舎スロープの手すりの設置も求めた。

## 公民館の休館日・住民投票 について

生活者ネット・市民クラブ 星 文明

星) 並木公民館で芸術祭が開催された。10月14日～11月14日だ。11月3日が休館日だった。市民が見学にでかけたが、閉まっていた。5年前から課題となっているそうだが、なぜ改善できないのか。

教育部長) 休日は今まで休館日であったことが当然ということで、改善という視点が抜けていたということだと思う。

星) 地域市民の利用があって成果が期待できる施設だ。11月3日に限らず、休館日を見直す必要があると思うがどうか。

教育部長) これを契機に見直していかなければならないと思う。職員として、何をどうすべきか等も含めてしっかり検討する。

星) 自治基本条例11条に住民投票が規定されている。3項では、その都度条例設置で実現するとなっているが、本市では、2年おきに市長選挙と議員選挙があり、3年に一度は参議院選挙が、その他不定期だが衆議院選挙が行われる。これらの選挙の折りに住民投票に付すべき事件があれば実施できるように準備しておくべきと思うがいかん。

市長) 条例を作ったときは諮問型としたが、常設型との提案だ。考えてみたい。

星) 市政の課題を市民に知ってもらおう観点からも常設型が望ましい。諮問型は、権力者側に有利だ。

市長) 諮問型が権力者に有利との認識は持っていないが、受け止める。

## これでよいのか 図書館の図書購入費の削減

市民サイド 釜我 健二

釜我＝市立図書館の利用は過去15年間で60%近く増加しているのに図書購入費は逆に約40%減少している。ひどい実態なので改善を求める。

教育部長＝指摘を踏まえて対応していきたい。

釜我＝IT化と図書館のあり方について「図書館協議会」に諮問し、調査研究を行ってほしい。

教育部長＝提言を踏まえ今年度諮問等を行いたい。

釜我＝公民館の有料化が市民にわかりにくい方法で進められようとしている。もっと市民・議会の意向も踏まえた取り組みをすべきだ。

市長＝使用料・手数料を見直していく。具体的計画についても市民合意で進める。

3・2・8号線の現状と今後の計画は

①釜我＝この道路計画をめぐる国に対しての事業認可取消請求訴訟の現状はどうなっているか。

部長＝23年1月に16回目の口頭弁論が開かれる予定だ。訴訟はかなり詰まってきたと聞く。

釜我＝沿道住民の健康と環境の問題であり、国・都には誠実な訴訟対応を強く求めたい。

②釜我＝先行工事となる立体交差部分(中央線・西武線)の工事着工はいつ頃になるのか。

副市長＝22年度中に中央線との交差部分の搬入路工事に入ると聞いている。詳細は確認する。

③釜我＝いずれにせよ、都に建設工事の詳細スケジュールを早く開示するよう求めるべきだ。

部長＝都に詳細スケジュール提示を強く求める。

④釜我＝この計画道路に伴う下水道設計は、水害対策と深くかかわる。戸倉一丁目は浸水危険地帯もあるので水害を絶対に起こさない設計を。

部長＝きちんと豪雨対策が取れる形で協議する。

## 市長は任期毎に 政策判断ミスの大実績がある

無党派 甲斐 よしと

市長は市民文化会館、本庁舎の即時建設と市長任期ごとに大きな政策判断ミスの実績がある。今期は北口再開発、市負担ルール分の21億、もしくは最悪36億の追加支出で、副市長の言う「勝負に賭け」で負けた図面に執着することだ。市長の仕事は市民の負担リスクを避けることが本道だ。過去、庁舎建設の責任を問うたが、北口を計画通りに進めることで責任を全うしたい等と詭弁を呈した。それでは今、北口が計画通りとならずや、改めて庁舎の責任を追及したが、再度詭弁を呈し、自らの責任を認めなかった。

＜戸倉通りの歩道、ガードパイプ等について＞  
マルエツ～市営グラウンドの歩道は、片側のみで私が子供の頃は歩車平面にガードレールで、車いすどころか傘ですれ違うにも狭かった。後に段上がり歩道に改善。そして今回ガードパイプ設置でまた狭くなった。外して、また付けた根拠を問うたが、的確な答弁はなく、電柱の民地への移設等で、狭あいの解消を求めた。

二小前～光町交差点 安全対策は必要だが、ガードパイプと109個もの点滅灯等で1,783万円だ。市内他にも危険箇所は多い故、一カ所に過剰に行うのではなく、効果的な税の使い方を求めた。

＜弁当外注方式の中学校給食について＞

過去小学生数のピークは現在の小中学生数の総数を上回る。給食調理員数もほぼ同数。単純に考えれば、小学校で作った給食を運べば、中学校でも美味しい給食を食べられる。五中は給食室の増設も可能だ。教育長から調理室2部制の市の例や、研究する旨の答弁がありました。

## 市政の混乱は リーダーシップの欠如にあり!

民主党・無所属クラブ 木村 徳

木村＝平成11年当時、病時・病後児保育の質問をし、13年に病児保育は実施された。病後児保育実施に向けた検討状況は。業態の多様化に即し、日曜保育の実施もすべきだ。

子ども福祉部長＝医者の確保で難航しているが、予算化はしており、できるだけ早くと考える。

日曜保育の要望は認識しており、長計の後期計画で具体的な方策を検討する。

木村＝犯罪被害者支援対策について、既に6回目の質問だ。現在の検討状況は。

市民生活部長＝検討委員会を設置し6回の検討を重ねている。また犯罪被害者、警察等との面談も行い、取りまとめの段階に入っている。

木村＝いじめの問題は潜在化・陰湿化している。隠蔽もあってはならず、対応マニュアル作成を。

教育部長＝チェックシート等は活用しているが、マニュアル整備等の対応を練っていく。

木村＝職員の意識改革では、民間研修を求めてきたが、講習等で意識改革につなげるとの答弁だった。結果は事務執行上のミスが多発し、違法なストまで起こす実態だ。改めて民間研修を。

市長＝どうしたら可能か慎重に検討したい。

木村＝情報の共有化は、議会・市民が一切知らない駐輪場計画が勝手に進んでいたり、北口再開発も都から難しい旨の指摘を受けながら隠蔽していた。住民投票条例の制定を。また、人件費等にも関わる労使交渉も公開すべきだ。

市長＝住民投票条例は改めて考える。労使交渉は、議員の声は市民の声と受け止めており、その意識で交渉に当たる。(※公開は明言せず)

## 請願・陳情の提出について

市民の皆様は、市民の皆様の市政に対する要望は、請願・陳情としてどなたでも議会に提出できます。

提出期限や提出方法については、調査担当までお問い合わせください。

調査担当 (内581)

第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には新規15件の議案が提出され、継続11件と合わせ審議した結果、承認1件、可決14件、同意3件、継続5件、撤回3件となりました。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 19 items of council proposals and their outcomes.

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

Table showing voting status for 4 proposals across various council members and parties. Columns include party names and member names.

・表決 (○=賛成 ×=反対)
・会派名 (サイド=市民サイド、ネット・市=生活者ネット・市民クラブ、民・無=民主党・無所属クラブ、共産党=日本共産党国分寺市議団、無=無会派)

陳情の審査結果

第4回定例会には陳情7件が提出され、委員会に付託した後、継続審査中の8件と併せて審査し、一部採択・一部審議未了2件、不採択1件、審議未了3件、継続9件となりました。

第4回定例会

- 〈一部採択・一部審議未了となった陳情(付託先)〉
陳情第22-5号「国に子宮頸がん・ワクチン接種を要する意見書の提出を求めるとともに子宮頸がん・ワクチンに市の補助を求める陳情」(厚生委員会)
陳情第22-14号「子宮頸がん予防ワクチンへの助成を求める陳情」(厚生委員会)
〈不採択となった陳情(付託先)〉
陳情第22-7号「子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情」(厚生委員会)
〈審議未了となった陳情(付託先)〉
陳情第22-8号「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)
陳情第22-9号「永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

- 陳情第22-10号「人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)
〈継続となった陳情(付託先)〉
陳情第22-6号「家庭福祉員制度を充実する陳情」(厚生委員会)
陳情第22-11号「一人暮らし世帯の安否確認と緊急通報システムの新設・普及を求める陳情」(厚生委員会)
陳情第22-13号「違法性が高い教育委員会委員への月額報酬支給を月額制に改めることを求める陳情」(総務委員会)
陳情第22-15号「エックス山北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-16号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-17号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-18号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)
陳情第22-19号「国分寺市議会傍聴規則の改正に関する陳情」(議会運営委員会)
陳情第22-20号「エックス山北側の樹木伐採の中止を求める陳情」(建設環境委員会)

意見書を可決
下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。

意見書第3号

子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

政府は平成22年度予算から導入した子ども手当について、全額国庫負担で実施するとの方針を繰り返し表明してきたが、22年度予算では「暫定措置」として地方負担約6,100億円が盛り込まれた。

本来、全額国庫負担が原則だった子ども手当について、原口一博前総務大臣は国会答弁等で、地方負担を23年度以降は継続しないことを明確にしていたにもかかわらず、現政権は来年度以降も地方負担を求めることに前向きな考えを示している。

子育て支援は、地域の実情に応じ地方自治体が創意工夫を発揮できる分野であり、子ども手当のような全国一律の現金給付については国が担当し、全額を負担すべきである。こうした内容について地方との十分な協議もないままに、来年度予算でも地方負担を継続されることに強く反対する。

よって国分寺市議会は、制度を存続させる場合、最低限、現行の地方負担を廃止し、全額国庫負担で行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月21日

東京都国分寺市議会